

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課	■担当係	公園緑地係
■評価事業名称	全国都市公園整備促進協議会負担金		
■事業開始年度			
■評価事業コード	070400 - 304	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり	
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成	
	■施策	03 緑のまちづくりの推進	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	都市公園法		
■関連計画の名称	北上市緑の基本計画		
■事業の目的と概要	みどり豊かなまちづくり推進に向け、公園の更なる整備促進のための情報収集活動等を行う。都市公園整備事業推進に係る協議会負担		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	全国都市公園整備促進協議会負担金	会員	公園・緑地保全事業シンポジウム、緑化関係キャンペーンへの協力他	公園・緑地保全事業シンポジウム、緑化関係キャンペーンへの協力他

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	57	43	43	43	
人件費	916	74	75	76	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	973	117	118	119	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	情報提供回数	1	1	1	1	公園緑地整備等に関する情報提供回数
	提供コスト	973	117	118	119	フルコスト/情報提供回数

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

公園緑地関係資料の提供を受け、公園施策、整備内容へ反映している。

問題点・課題等

公園施設の老朽化、市民からの要望等の多様化等、公園緑地の維持管理に関する課題が多いため、更なる情報収集が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

公園緑地の維持管理のため、管理手法、支援制度等に関する情報収集の手段として、継続していく必要がある。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了